



CLUB PROFILE

SHIZUOKA BlueRevs



BIND AND TRY

MISSION

革新と情熱で、
心躍る最高の感動をつくりだす

ラグビーの世界で、最高峰にチャレンジする。
フィールドの中でも、外でも、世界と対等以上に渡り合う。
そのために、
私たちにしかできないアイデアと熱量と想いを結集し、
「最高だと思える瞬間」「心躍る感動」を
つくり続けます。

VISION

静岡から世界を魅了する、
日本一の
プロフェッショナルラグビークラブをつくる

静岡県を代表するクラブとして、
ファン・地域・パートナーとともに、
プレーのみならず、
ラグビーに関するすべての分野で世界最高峰に挑んでいきます。
「SHIZUOKA PRIDE」を胸に、
日本、世界で語り継がれる強く愛されるクラブを目指し、
ラグビー界を牽引します。

BRAND MESSAGE

BIND TRY

シズオカをバインドする。
シズオカでトライする。

ラグビーというスポーツを通して、
静岡を、ここに暮らすすべての人々を、
ブルーレヴズに関わる全てのステークホルダーを
繋ぎ、束ねる(BIND)ハブとなる。

フィールドの上では勝利とその先にある日本一を
静岡にもたらし、
フィールドの外でも革新と情熱で
ラグビー界に変革をもたらし、
世界最高峰に挑戦(TRY)し続ける。

ご挨拶



静岡ブルーレヴズ株式会社
代表取締役社長

山谷 拓志

プロラグビークラブ「静岡ブルーレヴズ」として4年目となる2024-25シーズンは、リーグ最終順位5位にて終了いたしました。

青く染まり「GO! GO! REVS!!」の大声援が響き渡るスタジアムで選手の背中を後押しいただきましたレヴニスタの皆様をはじめ、多大なるご支援を頂いておりますオフィシャルパートナー企業の皆様、自治体関係者、メディア関係者、リーグ並びに協会関係者の皆様など全てステークホルダーの皆様に心から感謝を申し上げます。

藤井雄一郎監督を迎えて2年目となった2024-25シーズンは、静岡ブルーレヴズとして過去最高のレギュラーシーズン4位、そして初めてのプレーオフトーナメント進出を果たすことができました。選手達のハードなトレーニングやコーチングスタッフやチームスタッフのたゆまぬ努力の結果として、今シーズンお約束しましたプレーオフ進出を成し遂げることはできましたが、目標である「日本一」にはまだ手が届かない結果となりました。

来シーズンの目標は明確に「日本一」です。その目標を成し遂げるためにまだ足りない何かを解決していく取り組みは既にスタートしています。必ずや日本一となるべく事業と強化の両軸をより一層成長させていきます。

皆様のご期待にしっかり応えることができるクラブとなるべく、強く愛される世界一のプロラグビークラブとなるべく、革新と情熱でこれからも日々精進して参る所存です。

2024-25シーズンも皆様のご支援ご協力ご声援、本当にありがとうございました。

CONTENTS

ご挨拶	P3	ホストエリア活動	P11・12・13
選手・チームスタッフ紹介	P4	ラグビー普及活動	P14
TEAM TOPICS	P5	アカデミー・スクール・育成	P15・16
戦績	P6	SCRUM Action ~結束の力で未来を創る~	P17
PHOTO GALLERY・ Team Man of the Match/Motors Award	P7	2024-25シーズン静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー	P18・19
エンターテインメント & ホスピタリティ	P8・9		
事業実績	P10		

2024-25 SEASON PLAYERS

(2025年4月30日現在)

PR 日本代表 6 Caps 伊藤 平一郎 Heichiro Ito	PR 西村 颯平 Sohei Nishimura	PR 植木 悠治 Yuji Ueki	PR 河田 和夫 Kazuhiro Kawata	PR 台湾代表 3 Caps 郭 玟慶 Bunkei Kaku	PR 山下 憲太 Kenta Yamashita	PR 日本代表 6 Caps 茂原 隆由 Takayoshi Mohara	PR シオン・ヴェーテ Sean Vete	PR 中山 律希 Ritsuki Nakayama
PR シアレ・マヒナ Siale Mahina	PR 稲場 巧 Takumi Inaba	PR 本山 佳龍 Keiatsu Motoyama	HO 日本代表 5 Caps 日野 剛志 Takeshi Hino	HO 平川 隼也 Toshiya Hirakawa	HO リッチモンド・トンガタ Richmond Tongatama	HO 作田 駿介 Shunsuke Sakuta	LO 日本代表 5 Caps 大戸 裕矢 Yuya Odo	LO ViceCaptain 桑野 詠真 Eishin Kuwano
LO 三浦 駿平 Shumpei Miura	LO マリー・ダグラス Murray Douglas	LO 八木澤 翔龍 Ryuto Yagisawa	LO シオネ・ブナ Sione Vuna	LO ジャック・ライト Jack Wright	LO ヴェティ・トゥポウ Veti Tupou	LO ジャスティン・サングスター Justin Sangster	FL 杉原 立樹 Riki Sugihara	FL 庄司 拓馬 Takuma Shoji
FL 日本代表 7 Caps マルジーン・イラウア Malgene Ilaua	FL ジョーンズリチャード剛 Richard Goh Jones	FL 齋藤 良明慈縁 Lamin Dieng Saito	FL シモン・ミラー Simon Miller	FL 福田 大晟 Taisei Fukuda	FL Captain クワガ・スミス Kwagga Smith	FL 舟橋 諒将 Ryosuke Funahashi	SH 田上 稔 Minoru Tanoue	SH 岡崎 航大 Kodai Okazaki
SH 期限付移籍中 吉岡 義喜 Yoshiki Yoshioka	SH 北村 瞬太郎 Shuntaro Kitamura	SH 加藤 大冴 Taiga Kato	SH 細矢 聖樹 Sena Hosoya	SH サネレ・ノハンバ Sanele Nohamba	SH サム・グリーン Sam Greene	SH ViceCaptain 家村 健太 Kenta Iemura	SH 筒口 允之 Makoto Tsutsuguchi	SH 石塚 弘章 Hiroaki Ishizuka
CTP トンガ代表 9 Caps ヴィリアミ・タヒトゥア Viliami Tahitua	CTP シルビアン・マフザ Sylvian Mahuza	CTP 伊藤 峻祐 Shunsuke Ito	CTP トンガ代表 9 Caps ニュージーランド代表 17 Caps チャールズ・ピウタウ Charles Piutau	CTP ハンター・リム Hunter Lim	CTP 岡崎 颯馬 Soma Okazaki	CTP 五島 源 Gen Goto	WTP 矢富 洋則 Hironori Yatomi	WTP 日本代表 7 Caps マロ・ツイタマ Malo Tuitama
WTP 榎 瑛人 Eito Maki	WTP 杉本 海斗 Kaiko Sugimoto	WTP ジャック・ティム Jack Timu	WTP ヴァレンス・テワレ Valynce Te Whare	FB 奥村 翔 Kakeru Okumura	FB 山口 楓斗 Futo Yamaguchi	MSC レヴズ Revs	<p>TEAM SLOGAN</p> <p>ONE STEP AHEAD</p> <p>一步先をいく</p>	

COACHES & STAFF



監督
藤井 雄一郎

監督
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アナリスト
アナリスト
通訳
ITコーディネーター

藤井 雄一郎
長谷川 慎
堀川 隆延
田村 義和
矢富 勇毅
ジョン・ドネヒュー
瀬尾 勝太
小藤 大洋
吉水 奈翁
松山 貴博

チームマネジャー
アシスタントマネジャー/通訳
ヘッドS&Cコーチ
S&Cコーチ
S&Cコーチ
S&Cコーチ
アシスタントスタッフ
ヘッドアスレティックトレーナー
アスレティックトレーナー
アスレティックトレーナー
アスレティックトレーナー

中村 彰
赤松 魁
アダム・キン
佐藤 大起
山岡 楽
尾崎 耕一郎
寒河江 涼太
濱野 武彦
海江田 晃
荒谷 恭介
山口 裕之

チームドクター
チームドクター
リカバリースペシャリスト
メディカルアドバイザー
管理栄養士
強化部長
チームマネジメントユニット コーディネーター
チームマネジメントユニット コーディネーター
選手編成・選手リクルート

猿川 潤一郎
塩崎 太郎
村田 隆郎
内山 啓
松本 恵美子
山谷 拓志
加藤 圭太
佐藤 洋平
西内 勇人

-TEAM TOPICS- ホストゲームは8勝1敗!

第1節

2024/12/21 (土)

@ヤマハスタジアム

スター精密 presents マッチデー

15-13

VS コベルコ神戸
スティーラーズ



第5節

2025/1/18 (土)

@ヤマハスタジアム

山崎マシーナリー presents ボルボマッチデー

34-28

VS 東芝ブレイブ
ループス東京



第11節

2025/3/15 (土)

@ヤマハスタジアム

サーラグループ presents マッチデー

22-17

VS 埼玉パナソニック
ワイルドナイツ



第12節

2025/3/22 (土)

@IAIスタジアム日本平

日本軽金属グループ presents マッチデー

31-25

VS リコーブラックラムズ東京



第16節

2025/4/27 (日)

@エコパスタジアム

ECOM presents マッチデー

38-28

VS 横浜キヤノンイーグルス



第17節

2025/5/3 (土)

@ヤマハスタジアム

大興金属 presents マッチデー

62-52

VS 浦安D-Rocks



-MILESTONES-

(2025年4月30日現在)



2024/12/21

伊藤 平一郎 選手
100 caps



2025/1/4

マロ・ツイタマ 選手
50 caps



2025/3/2

大戸 裕矢 選手
150 caps



2025/3/2

サム・グリーン 選手
50 caps



2025/3/22

日野 剛志 選手
150 caps

RESULTS

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 DIVISION1

節	対戦日	対戦チーム	勝敗	スコア	会場	観客数(人)
第1節	12.21(土)	コベルコ神戸スティーラーズ	○	15-13	ヤマハスタジアム	8,498
第2節	12.28(土)	浦安D-Rocks	○	62-19	えがお健康スタジアム	2,603
第3節	1.4(土)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	○	40-34	秩父宮ラグビー場	4,824
第4節	1.11(土)	横浜キヤノンイーグルス	●	35-53	ニッパツ三ツ沢球技場	6,842
第5節	1.18(土)	東芝ブレイブルーパス東京	○	34-28	ヤマハスタジアム	6,571
第6節	2.1(土)	東京サントリーサンゴリアス	●	14-33	ヤマハスタジアム	6,203
第7節	2.8(土)	リコーブラックラムズ東京	○	32-24	Jヴレッジ	1,207
第8節	2.15(土)	トヨタヴェルブリッツ	○	33-23	岐阜メモリアルセンター長良川競技場	4,118
第9節	2.22(土)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	●	14-62	スピアーズえどりくフィールド(江戸川区陸上競技場)	3,908
第10節	3.2(日)	三重ホンダヒート	○	44-14	ヤマハスタジアム	7,429
第11節	3.15(土)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	○	22-17	ヤマハスタジアム	5,302
第12節	3.22(土)	リコーブラックラムズ東京	○	31-25	IAIスタジアム日本平	7,720
第13節	3.29(土)	東京サントリーサンゴリアス	●	17-22	秩父宮ラグビー場	5,094
第14節	4.5(土)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	○	38-8	ヤマハスタジアム	6,065
第15節	4.12(土)	東芝ブレイブルーパス東京	○	56-26	秩父宮ラグビー場	10,097
第16節	4.27(日)	横浜キヤノンイーグルス	○	38-28	エコパスタジアム	8,113
第17節	5.3(土)	浦安D-Rocks	○	62-52	ヤマハスタジアム	12,406
第18節	5.10(土)	コベルコ神戸スティーラーズ	○	29-23	ノエビアスタジアム神戸	7,991
プレーオフ 準々決勝	5.17(土)	コベルコ神戸スティーラーズ	●	20-35	東大阪市花園ラグビー場	7,006

STANDINGS

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 DIVISION1

レギュラーシーズン終了時点

順位	チーム	試合数	勝点	勝	分	負	得点	失点
1	東芝ブレイブルーパス東京	18	71	15	1	2	741	480
2	埼玉パナソニックワイルドナイツ	18	71	14	2	2	727	437
3	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	18	69	14	2	2	606	361
4	静岡ブルーレヴズ	18	63	14	0	4	616	504
5	コベルコ神戸スティーラーズ	18	51	10	0	8	642	509
6	東京サントリーサンゴリアス	18	40	8	2	8	542	568
7	リコーブラックラムズ東京	18	33	6	0	12	504	521
8	横浜キヤノンイーグルス	18	30	6	0	12	518	566
9	三菱重工相模原ダイナボアーズ	18	26	6	0	12	436	653
10	トヨタヴェルブリッツ	18	24	4	1	13	445	617
11	三重ホンダヒート	18	18	4	0	14	417	711
12	浦安D-Rocks	18	14	3	0	15	465	732

プレーオフ
トーナメント
進出ライン

YEAR BY YEAR (リーグ最終順位)



-PHOTO GALLERY-



"Team Man of the Match" / "Motors Award"

各節毎にメンバーとノンメンバーを1名ずつチーム内で表彰する“TeamMan of the Match”と“Motors Award”。いずれのワードも多くの選手が選ばれたことが、チーム全員でシーズンを戦い抜いたこと、選手層が厚くなったことを示しています。

	Team Man of the Match	Motors Award		Team Man of the Match	Motors Award
第1節	ヴィリアミ・タヒトゥア	三浦 駿平	第10節	大戸 裕矢	加藤 大冴
第2節	シルビアン・マフォーザ	ジャック・ライト	第11節	クワツガ・スミス	杉原 立樹
第3節	マロ・ツイタマ	岡崎 颯馬	第12節	日野 剛志	ジャスティン・サングスター
第4節	北村 瞬太郎	平川 隼也	第13節	ショーン・ヴェーター	三浦 駿平
第5節	マリー・ダグラス	矢富 洋則	第14節	ヴァレンス・テファレ	ジャック・ライト
第6節	ヴェティ・トゥポウ	庄司 拓馬	第15節	奥村 翔	家村 健太
第7節	ヴェティ・トゥポウ	平川 隼也	第16節	北村 瞬太郎	山下 憲太
第8節	クワツガ・スミス	奥村 翔	第17節	ジャスティン・サングスター	岡崎 航大
第9節	—	舟橋 諒将	第18節	大戸 裕矢	伊藤 峻祐

エンターテインメント & ホスピタリティ

クラブ初の3rdユニフォームは～ALL SHIZUOKAジャージ～

クラブとしては初の3rdユニフォームとなる～ALL SHIZUOKAジャージ～は、「ビューティー&ユース ユナイテッドアローズ」によるプロデュース、オフィシャルサプライヤーBLKによる製作。年に一度のIAIスタジアム日本平（静岡市清水区）での-hostゲームで着用しました。



新たなスタグルコンテンツ～レヴズ横丁～

2024-25シーズンから新たに生まれたレヴズ横丁、略してレヴ横。

今季はそれぞれにテーマを変えつつ、3試合で様々なスタジアムグルメを提供しました。



3季連続の定番“レヴシャツ”

3シーズン連続で定番となりつつある-hostゲーム最終節のギブアウェイ“レヴシャツ”。今季はモータースポーツの世界観を取り入れ、ヤマハスタジアムを青一色に染めました。



エンターテインメント & ホスピタリティ

毎試合、異なるテーマでエンターテインメントを追求した静岡ブルーレヴズらしい HOST GAME

ヤマハスタジアム・エコパスタジアム・IAIスタジアム日本平と3つのスタジアムで開催するHOST GAMEでは、毎試合異なるテーマで非日常空間を味わえるようなイベントや企画が満載。

また、ご来場いただいた皆様に感動と興奮を届けるエンターテインメントを追求しつつ、再びスタジアムに足を運びたいくなるようなホスピタリティの向上にもクラブ一丸となって努めております。



静岡ブルーレヴズ公式ボランティア

REVS CREW

SHIZUOKA BlueRevs official volunteer



静岡ブルーレヴズが掲げるミッション「革新と情熱で、心躍る最高の感動を作り出す」その心躍る感動を生み出す原動力となりたい、そんな思いから「REVS CREW」は設立されました。

従来の試合会場の雰囲気以上に、親しみやすく、前向きで明るいパワーを生み出しながら、観客の皆様にも感動を提供するだけでなく、何よりも参加するボランティア自身が楽しめるボランティア活動を提供していきたいと考えています。



ホストスタジアム



ヤマハスタジアム (磐田市)

開幕戦や最終戦などもっと多くの試合を戦うスタジアム。毎試合様々なテーマのイベントで、場外のレヴニスタ広場やキッズパークは賑わい、スタジアム内ではレヴニスタの声が響き渡り選手を後押しする。



エコパスタジアム (袋井市)

ラグビーワールドカップ2019™日本大会で日本代表が強豪アイルランド代表を破る金星を挙げた「シズオカ・ショック」の地、エコパスタジアム。日本ラグビーの歴史に大きな一歩が刻まれたこのスタジアムでも毎シーズン試合を行っています。



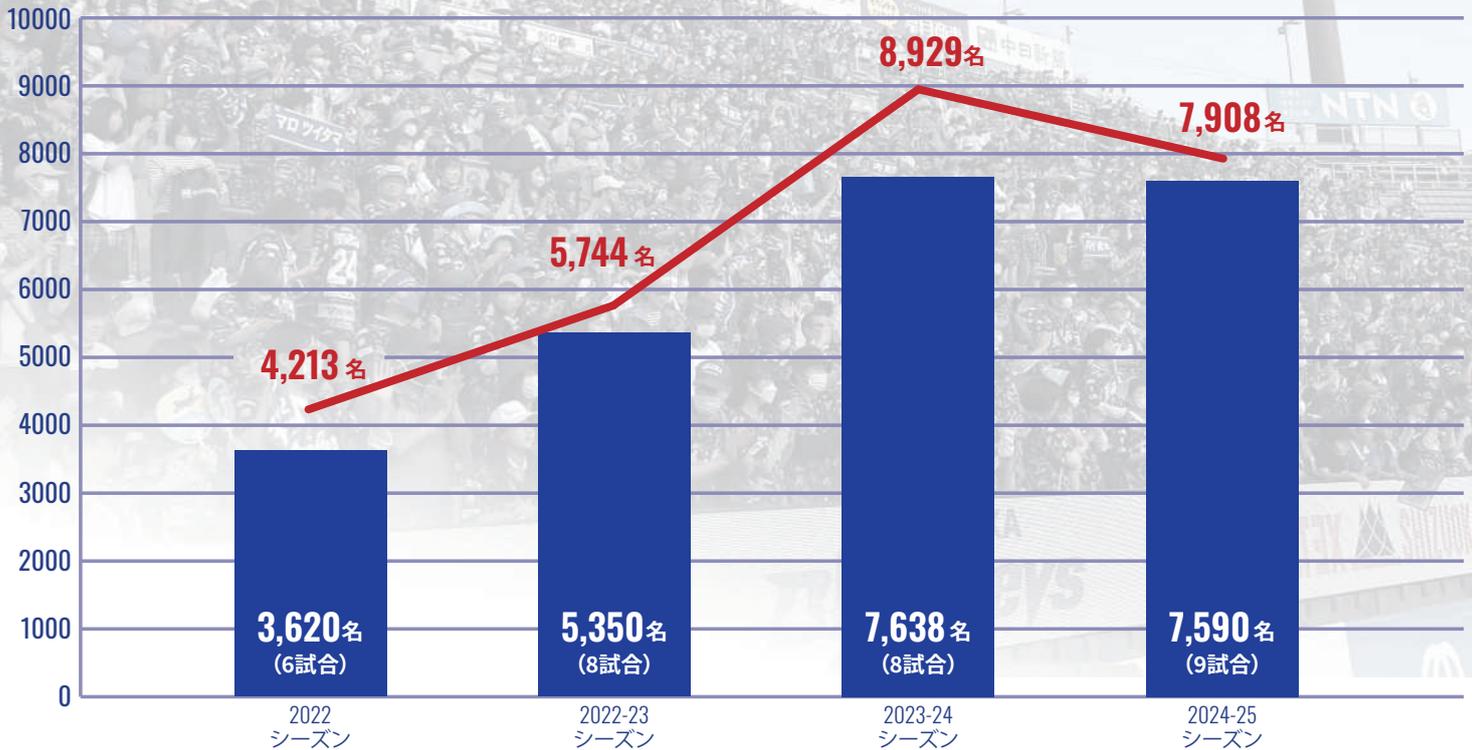
IAIスタジアム日本平 (静岡市)

「ネイチ・アイスタ」をテーマに掲げ、毎年1試合を開催。2024-25シーズンにはクラブとしては初の3rdユニフォームとなる～ALL SHIZUOKA ジャージ～を着用して試合を行った。Jリーグのベストピッチ賞を過去9回受賞した芝も魅力。

観客動員数

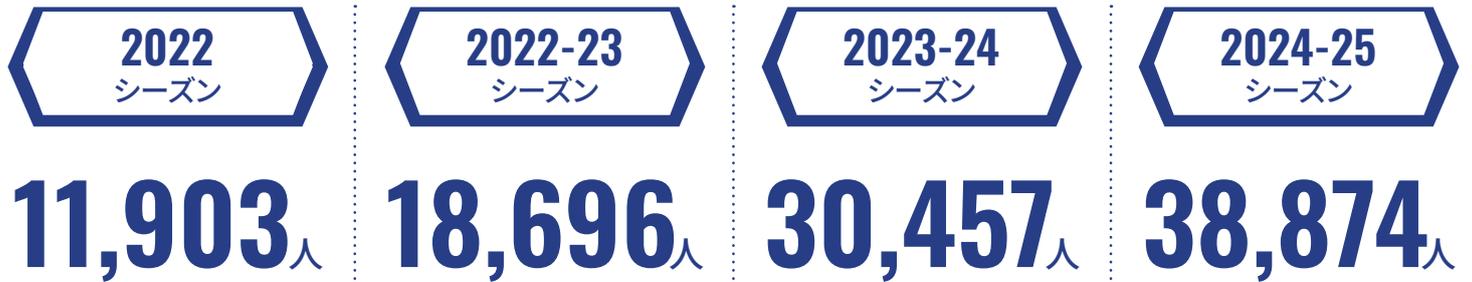
▶▶ ホストゲーム平均観客数推移

— DIVISION1全体の平均観客数



OFFICIAL FANCLUB CLUB REVS 会員数

(2025年5月8日現在)



SNSフォロワー数



(2025年5月8日現在)

ホストエリア活動

自治体連携

静岡ブルーレヴズは、静岡県をホストエリアとし、静岡県との包括連携協定のもと、地域に根ざしたクラブ運営を行っています。加えて、県内各自治体ともパートナーシップ協定を締結し、スポーツ振興、青少年の健全育成、地域のにぎわい創出や活性化など、多岐にわたる分野での連携を進めています。

2024-25シーズンには、新たに牧之原市、森町、御前崎市、富士市、藤枝市との協定を締結し、現在では静岡県と県内17市町との協定体制となりました。

今後も地域と密接に連携しながら、クラブと地域がともに発展していけるよう、さまざまな活動を展開してまいります。



産学連携

静岡ブルーレヴズは、ホストエリアである静岡県内の教育機関と産学連携協定を締結しています。人材育成をはじめ、地域クラブ化の支援、スポーツ関連分野における研究の協力、スポーツを通じた地域振興などに取り組んでいます。



静岡聖光学院中学校・高等学校



静岡産業大学



静岡県立清水南高等学校・同中部

具体的な取り組み

ラグビー教室の開催



牧之原市相良総合グラウンド完成式典

青少年の健全な育成とラグビーの普及を目的に、ホストタウンと連携してラグビー教室を開催しました。

広報活動への協力



静岡いわたPR大使

広報・啓発活動に様々な形で協力しています。

- ・きくがわ応援大使
- ・こさいの豚肉PR大使
- ・静岡県警察本部
「薬物乱用防止啓発ポスター」

ふるさと納税



磐田市・袋井市にて、公式戦ジャージのレプリカやドライTシャツをふるさと納税返礼品に登録しました。磐田市ではラグビーボール型のけん玉を地元事業者と開発し登録。袋井市ではエコパ開催試合の「プレイヤー・オブ・ザ・マッチ」プレゼンター権付き特別パッケージに登録しました。

ホストエリア活動

静岡ブルーレヴズ応援ポロシャツ着用

静岡県を含む13自治体にて応援ポロシャツを作成し、静岡ブルーレヴズ新シーズンの始動にあわせて県内約870名の職員有志の皆さまに一齐にポロシャツご着用いただきました。



街の装飾

ホストタウンを青く染めることで、街に彩りと活気を創出しています。



静岡市呉服町通り



JR御厨駅



浜松市鍛冶町通り

静岡ブルーレヴズサポートショップ(レヴサポ)

静岡ブルーレヴズでは、年会費無料で応援いただける「静岡ブルーレヴズサポートショップ(レヴサポ)」を募集しています。ポスターやミニのぼりの掲出で地域を青く染め、応援の輪を広げる取り組みです。2025年5月時点で137店舗が加盟中。



お申し込み特典(情熱コース)



ミニのぼり
(スタンド付き)



レヴサポステッカー



サービス記入用紙

加盟店一覧は
こちら▼



ホストエリア活動

静岡県民招待／市民・町民招待

ホストエリアの静岡県内にお住まいの皆様やホストタウンにお住まいの皆様をホストゲームへ無料ご招待しました。



REVSマイルキッズPASS supported by スター精密

企業からご協賛をいただき、ホストタウンにある保育園、幼稚園、こども園、小学校、特別支援学校に通う子どもたちとそのご家族を、ホストゲームに無料ご招待しました。



磐田市内の中学2年生一斉観戦

磐田市をふるさととして誇りに想い、将来にわたって愛する気持ちを育むことを目的に、市内10校・約1,360人の中学2年生が試合を観戦しました。



PRブース出展



ホストタウンの魅力を伝えることを目的にホストゲームにてブース出展をしていただきました。

レヴズふるさとギフトタイム



ホストタウンの特産品をPRするイベントとして実施しました。イベント内で最もスタジアムを盛り上げてくださった方へ、各自治体よりご協賛いただいた特産品をプレゼントしました。

磐田南高等学校書道部書道パフォーマンス



磐田南高等学校の書道部に、今季のチームスローガン“One Step Ahead ～一步先をいく～”の題字を執筆いただきました。またホストゲームにて書道パフォーマンスを実施しました。

REVSキャラバン supported by 大興金属



静岡ブルーレヴズが自治体等と連携しながら主体的に行うラグビー普及活動を『REVSキャラバン supported by 大興金属』と称して活動を行っております。

2024年度の当活動は、新たに冠として大興金属株式会社様、昨年度に引き続き株式会社ソミックマネジメントホールディングス様と不二化成株式会社様のご支援のもと実施しております。引き続き、ホストエリアである静岡県全域で積極的に活動し、心躍る最高のひと時を提供していきます。



2024年度活動実績

計243回、延べ13,373人

ラグビーディスカバリー

オリパラレガシー教育推進事業、浜松市トップアスリート連携事業含む

初心者向けのラグビー体験イベント「ブルーレヴズ ラグビー ディスカバリー」

これらの活動を通じ、ラグビーや静岡ブルーレヴズの魅力を地域の皆様へ伝えています。



タグラグビー

ヤマハ発動機(株)社員を対象に健康促進や一体感醸成を目的としたタグラグビー交流会。



研修

自治体や企業を対象にタグラグビーを活用したチームビルディング研修。



体験イベント

自治体と連携した地域でのラグビー体験イベント ※市町村主催。

アカデミー

2022年より小学5年生～中学3年生を対象に活動開始。2025年度は52名(4月末時点)の生徒が在籍。高校、大学と次のステージにつながる基本的なスキルの習得や、静岡産業大学と連携し成長のモニタリングを定期的に行いながら体作りに取り組んでいます。



ラグビースクール

ヤマハ発動機時代を含め20年以上の活動実績。2025年度は260名(4月末時点)の生徒が在籍し、年中児から大人クラスまで幅広い年代の方がラグビーを楽しんでいます。ラグビーの技術だけでなく、ラグビーを通じた人間力の向上をサポートしています。



育成モデル

ラグビーを通して子どもの好奇心を広げ、幅広い年代に楽しさを知ってもらい「スクール」、競技スキルを向上したいという思いを叶えるために元トップリーガーが全力でサポートする「アカデミー」を通して、世界と戦える人材を静岡から輩出していきます。



静岡ブルーレヴズでは、個人・団体および法人向けの寄付金募集プロジェクト<レヴズドリームファンド>を立ち上げました。いただいた寄付は、トップチームの強化・ラグビーの普及振興・社会貢献活動に充当し、当クラブのミッションの実現をさらに推し進めてまいります。複数口の寄付をいただく場合、希望オプションも割り振ることが可能です。革新と情熱で、心躍る最高の感動をクラブと共に創り出しましょう。



女子ラグビーチーム「AZALEA SEVEN」との連携



静岡ブルーレヴズ株式会社は、2023年11月に一般社団法人アザレア・スポーツクラブのゴールドパートナーとなりました。これまで以上に連携を強化しながら、ラグビーの普及活動等を行い、静岡県ラグビーの発展に貢献していきます。



ブルーレヴズRFC清水



静岡県立清水南高等学校・同中等部との産学連携協定をもとに、【BlueRevs RFC SHIMIZU】を2023年4月に設立しました。清水南中等部ラグビー部を地域クラブ化することで、県中部などのラグビー競技人口拡大に取り組みます。



海外クラブとの提携

フランス1部リーグ「TOP14」に所属するスタッド・トゥールーズ(Stade Toulousain)と2022年から、ニュージーランドのベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオンとは2023年からパートナーシップ協定を締結しています。

新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響によるグローバルな交流制限も緩和された2022年には両チームを訪問。トップミーティングを通じて、協定に基づく取組みの実施および更なる関係構築の継続を確認しました。

2024年8月には、元フランス代表でもあるエミール・ヌタマック氏をはじめとするスタッド・トゥールーズのアカデミーコーチ3名を招いて、合同アカデミーキャンプを初開催しました。



スタッド・トゥールーズ (フランス)

1907年クラブ創設。本拠地はフランス南西部に位置するトゥールーズ。フランス1部リーグ「TOP14」に所属。フランス選手権優勝は23回、ヨーロッパチャンピオンズカップ優勝は6回(いずれも史上最多)を誇る強豪。



ベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオン (ニュージーランド)

男女トップチームの強化をはじめ、アンダーカテゴリーの育成、地域へのラグビー普及や地域活動など、ベイ・オブ・プレントゥ地方における全てのラグビー活動を統括しているラグビーユニオン。これまでにニュージーランド代表選手を男女とも多く輩出している。



私たちの想い

静岡ブルーレヴズは、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献するためのプロジェクト「SCRUM Action」を2022年11月から開始しました。社会課題のうち、3つの重点テーマ「Ecology」「Food」「Diversity」を定めています。

SCRUM Actionは持続可能な開発目標(SDGs)とも深く結びついています。

ステークホルダーの皆さまとともにこのSCRUM Actionを推進し、結束の力でより良い未来を創っていきましょう。

——— 私たちが取り組む3つの重点テーマ ———

01 ECOLOGY

- ・脱プラスチック
- ・カーボンニュートラル

02 FOOD

- ・フードロス
- ・食育
- ・地産地消

03 DIVERSITY

- ・国際交流
- ・障がい者支援
- ・LGBTQ

SCRUM Action 実施報告

その他取り組み実績はこちら▶



カーボン・オフセット

リーグワン初の取り組みであるカーボン・オフセット付きチケットを販売。試合運営に伴うCO₂排出量をオフセットし環境に配慮した試合運営を実現しました。



フードドライブ

今シーズンはホストゲームで3回実施。合計で約442点75kgもの食材が集まり、フードバンクふじのくにに寄附させていただきました。



スポーツウェアの寄付「Blue Ties」

2023年よりヤマハ発動機(株)との取り組み「Blue Ties」を開始しています。ホストゲーム会場に寄付ブースを設置、寄付いただいたウェアはヤマハクリーンウォーターシステムを導入しているケニア共和国に届けられます。

HEROs PLEDGE



HEROs PLEDGE

一斉アクションキャンペーン2025春 アザレア・スポーツクラブと連携して、使い捨てプラスチックごみ削減に取り組みを実施しました。



地産地消「海老芋ブース」

ヤマハ発動機ジュビロでもプレーしていた遠藤広太さんが丹精込めて育てた磐田市の特産品である海老芋の詰め放題と海老芋塩ショコラの販売を実施しました。



パラスポーツの啓発

パリ2024パラリンピック金メダリスト若山英史選手(沼津市出身)をゲストにお迎えしてのトークショーや、車いすラグビーやボッチャの体験コーナー、東京2025デフリンピックのPRも行いました。

2024-25 シーズン 静岡ブルーレヴズ

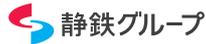
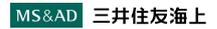
プラチナパートナー



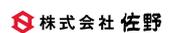
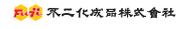
ダイヤモンドパートナー



ゴールドパートナー



シルバーパートナー



メディアパートナー



スクール/アカデミーパートナー



オフィシャルパートナー

ブロンズパートナー

株式会社エコム	株式会社遠州日石	株式会社ウエルビーフードシステム	株式会社クラブ	税理士法人坂本&パートナー
株式会社サンヨークリーニング	C Nexus株式会社	株式会社JM	ソミックグループ	浜松ホトニクス株式会社
株式会社フジコーポレーション	マイン・シュロス	東海旅客鉄道株式会社	あいネットグループ	ASTI株式会社
天方産業株式会社	遠州トラック株式会社	株式会社協栄製作所	株式会社クレストック	静岡隆嘉商会株式会社
シダックスコントラクトフードサービス株式会社	スマートエナジー磐田株式会社	須山建設株式会社	株式会社ソフテック	竹田運輸株式会社
司ゴム電材株式会社	浜松いわた信用金庫	ボートレース浜名湖	辛麺屋榎元	ユービーサポート株式会社
医療法人社団楽天堂	株式会社エヌエスティー	日管株式会社	株式会社ジェイ・ブラッカ	株式会社グリーンワークス
株式会社すみや電器	株式会社アイジーコンサルティング	青島皮膚科医院	石川建設株式会社	西山病院グループ
株式会社イトー	磐田化学工業株式会社	内田計器工業株式会社	うちやま呼吸器・アレルギークリニック	NTN株式会社 磐田製作所
木内建設株式会社	株式会社キャムテック	株式会社協和アルテック	協和サンシエンエンジニアリング株式会社	株式会社ケージーケー
コーチ株式会社	小松工業株式会社	佐藤産業株式会社	株式会社三和製作所	JFI株式会社
星光社印刷株式会社	株式会社セイセイサーバー	清和海運株式会社	静和工業株式会社	太陽建機レンタル株式会社
中部電力株式会社	デイサービス アビリティ	株式会社トーブラ	株式会社鷹宗建設	株式会社トランスポートオオスギ
西伊豆プロジェクト	日興電気通信株式会社/ニコウプロセス株式会社	日進電機株式会社	日本荷造運送株式会社	浜松ガスケット株式会社
株式会社PANO	細谷精機株式会社	株式会社マーシャルワールドジャパン	三菱電機株式会社	株式会社望月商事
株式会社八ヶ代造園	株式会社吉田	H.K.K株式会社&D.K.K株式会社	株式会社tonokEn&株式会社ファンテリック	

オフィシャルサプライヤー

				
			株式会社ヘルシーパス	MBC POWER
株式会社PR TIMES	大塚製薬株式会社	はごろもフーズ株式会社	メンズ脱毛サロン ロペス	株式会社ニューハレックス
アントルポ	STATSports	有限会社石井育種場	株式会社スターラインジャパン	株式会社オリゼ
アグリッチジャパン株式会社	株式会社ビューティーキャラバン			

パートナーシップ協定締結 自治体



産学連携協定



海外パートナーシップ協定



静岡ブルーレヴズとのパートナーシップに関するお問い合わせは、下記よりお願いいたします。メールアドレス: partner@shizuoka-blurevs.com

BIND AND TRY



静岡ブルーレヴズ株式会社 会社概要

会社名	静岡ブルーレヴズ株式会社 (SHIZUOKA BlueRevs, Ltd.)
設立	2021年(令和3年)6月22日
資本金	1億円
株主	ヤマハ発動機株式会社(100%)
本社オフィス	〒438-0071 静岡県磐田市今之浦3-8-8
クラブハウス	〒438-0002 静岡県磐田市大久保891番地106
代表取締役社長	山谷 拓志
取締役	渡部 克明
取締役	岡本 知彦
社外取締役	鈴木 健一郎
社外取締役	和田 由佳子
従業員数	38名(2025年4月現在)
事業内容	ラグビーチームやラグビースクールの運営、 ホストゲーム興行他

お問い合わせ

静岡ブルーレヴズ株式会社 電話:0538-32-0206(平日10時~18時) メール:information@shizuoka-blurevs.com